

「道の駅」平泉：テーマ性をもった観光周遊誘導(情報)と移動の円滑化(交通)を図るゲートウェイ

- 世界遺産「平泉」は年間200万人の入れ込み客数を誇る県内屈指の観光地
- 課題として「まち中渋滞」「世界遺産内の未周遊(1箇所訪問:約8割)」「平泉⇒県内主要観光地へ未周遊(中尊寺経由⇒他観光地(約1割))」等
- 「道の駅」を交通・情報の拠点(ゲートウェイ)とし交通環境の改善と周遊活性化を図る。

世界遺産「平泉」の課題

▼まち中心部に集中する世界遺産施設と駐車場⇒まち中渋滞の発生



▼世界遺産内の周遊が進まない



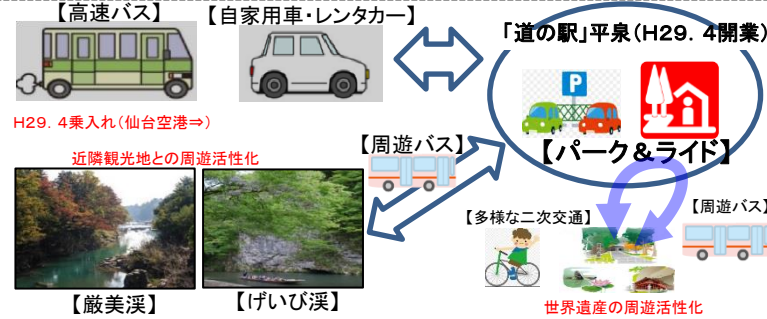
▼世界遺産から県内への周遊が進まない



「道の駅」を交通結節点化・情報発信拠点

【交通システム】※世界遺産内及び近隣観光地を結ぶ交通結節点

- 広域公共交通(高速バス)と世界遺産内及び周辺観光地への周遊バスを拠点化。乗り継ぎ機能を確保(公共交通への転換)
- 自家用車等の駐車確保。周遊バス・多様な二次交通との乗り継ぎによるパーク&ライド(まち中交通量の減少)



【情報システム】※世界遺産内誘導。テーマ性のある県内観光誘導

- 世界遺産内の案内誘導(ぐるっと平泉:スマホナビで案内誘導)
 - ・旅行目的、滞在時間、交通手段による「お勧めルート」
 - ・見たい施設、滞在時間、交通手段による「マイルート」
- 広域観光ルート(スマホナビで案内誘導)
 - ・県観光協会HPと「道の駅」を連携した周遊ルートを案内・誘導
 - ・藤原の足跡(史跡)を案内・誘導

▼ぐるっと平泉

▼広域観光案内

▼奥州藤原氏の足跡の旅

まち中交通量減少による渋滞緩和・観光周遊活性化

出典: 携帯カーナビプローブデータ (平成28年7月21日～8月28日までの休日、お盆)